

変更理由書

本書は、宇都宮都市計画道路 3・3・901 号おもちゃのまち下古山線の変更理由を示したものである。

1 位置・現況等

宇都宮都市計画道路 3・3・901 号おもちゃのまち下古山線は、壬生町大字安塚（下野市境）を起点として、同町若草町へ至る、同町おもちゃのまち地区の交通を支える、延長約 1,980mの幹線街路である。

起点から同町大字壬生丁地内の壬生町道 2-242 号線交差点までの区間は、幅員 25mの都市計画道路であり、壬生町道 2-242 号線交差点から終点の（都）宇都宮栃木線までの区間は、幅員 25m～35mで東武鉄道宇都宮線と立体交差する都市計画となっている。

本路線は、沿線に住宅地のほか大型店舗や工場が集積しており、郊外から来る人も多く、車の往来が激しい路線である。

本路線の南側に位置する壬生町睦小学校への通学のため、多くの児童が本路線を横断しており、通学児童をはじめ、歩行者の安全性を確保するために、横断歩道橋の架け替えを計画している。

2 変更の理由

当該路線の交通状況や同小学校への通学経路等を勘案し、児童の安全な通学環境と円滑な交通を確保するため、横断歩道橋設置に要する区域を追加する。

3 変更の内容

次のように都市計画を変更する。

名称	内容
3・3・901 号 おもちゃのまち下古山線	・横断歩道橋設置に要する区域を追加する。